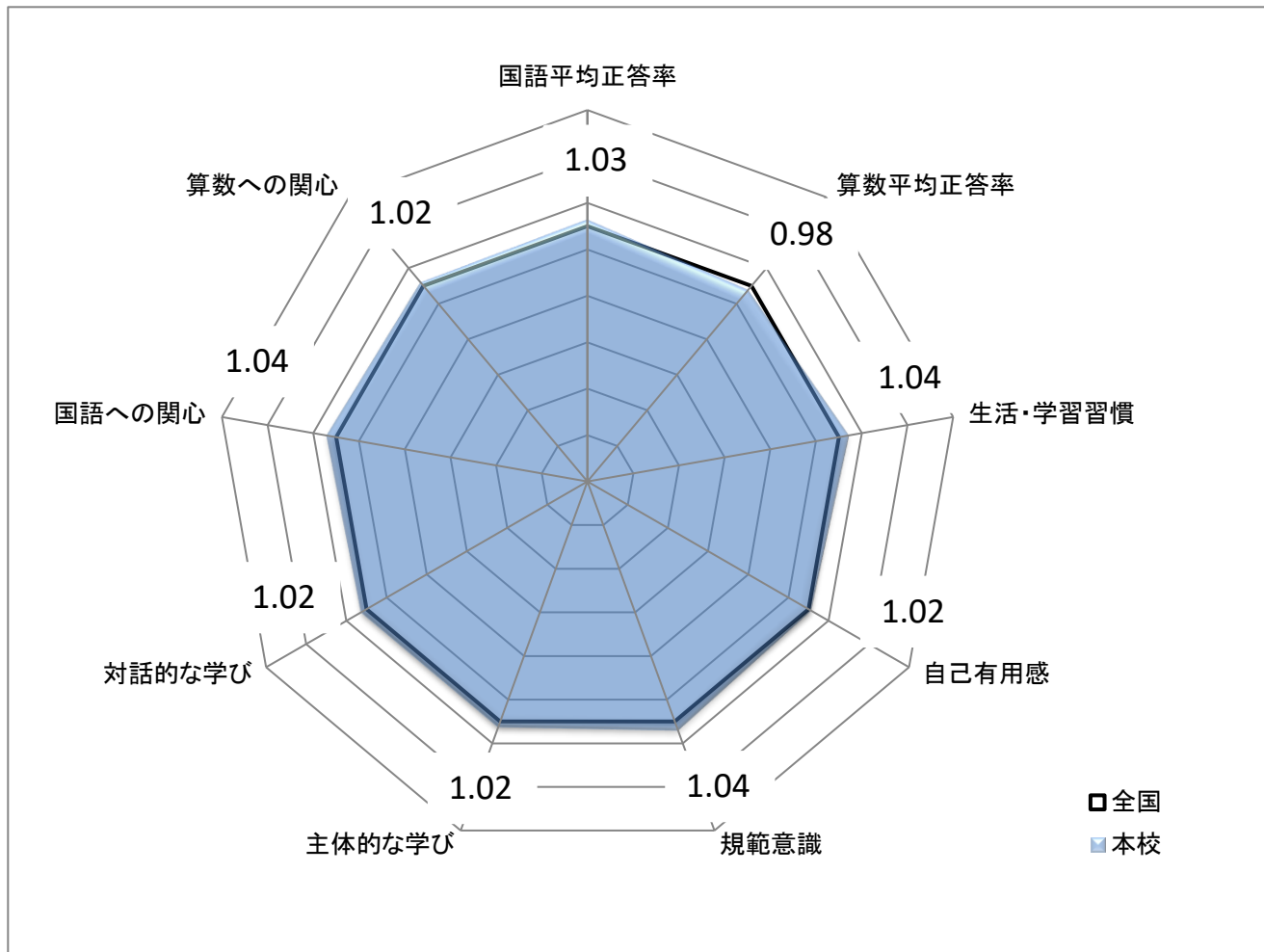


《現状把握》

●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



国語では、思考力・判断力・表現力の観点において、「話すこと・聞くこと」の領域に関する問題の正答率が全国平均より9ポイント高い。また知識・技能の観点において、「言葉の特徴や使い方」の領域に関する問題の正答率は、全国平均より10ポイント高い。一方で、思考力・判断力・表現力の観点において「書くこと」に関する問題の正答率は、全国平均より9ポイント低い。
算数では、知識・技能の観点において、「数と計算」と「データ活用」の領域に関する問題の正答率は5ポイント高い。一方で、思考・判断・表現の観点において、「図形」の領域に関する問題の正答率は、全国平均より8ポイント低い。

《授業改善のポイント》

国語の学習指導においては、図やグラフ等、自分の考えが、文章だけでなく、資料のどこを根拠に示しているのかを明確にして、意見を書く活動を行う。その際、文章の構成や表現の仕方に工夫することを重点的に指導する。
算数の学習指導においては、まず図形の性質の理解を定着させ、次に図形の性質を使った応用問題に取組ませる。その際、言葉や図、式を用いて答えの根拠を明らかにさせることを重点的に指導する。また、数と計算の問題についても、同様に答えの根拠を明確にさせることで、今まで以上に数学的な見方・考え方を働かせ、思考力・判断力・表現力を高めていきたい。

《チャートの特徴》

- 全体を見ると、ほぼ全ての項目で全国平均を上回っている。
- 国語の平均正答率は、全国平均正答率に対して、3ポイント上回っている。
- 算数の平均正答率は、全国の平均正答率に対して、2ポイント下回っている。
- 生活・学習習慣、規範意識については全国平均に対して、4ポイント上回っている。
- 主体的な学び、対話的な学びは、全国平均に対して、2ポイント上回っている。
- 国語への関心については、全国平均に対して、4ポイント上回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

基本的な生活習慣や学習習慣が身に付いている。また、規範意識についても、全国平均よりも高い結果である。このことから、引き続き、規則正しい生活やきまりやルールを守って生活する等を家庭に啓発し、学校と連携して児童の生活環境を整えていくようお願いする。